

MyLion 奉仕報告ガイドライン



2020年2月 初版

ライオンズクラブ国際協会
8複合地区GSTコーディネーター会議監修

※ガイドラインは最新版を必ずご覧ください

1. はじめに

奉仕を報告するという事は、国際協会という組織として、コミュニティにどのような効果をもたらしているのかをグローバルな一般社会に対して把握し、伝えることを意味します。このガイドラインは、この意味で、

- ライオンズ会員、レオ会員にとって奉仕とは何か
- さまざまな奉仕の効果の測定方法
- 奉仕を受けた人（受益者）の算出方法についての考え方

について、指針を示すものです。

このガイドラインは、国際協会奉仕事業委員会が作成したガイドラインに、日本で多く行われる奉仕アクティビティを念頭に、日本 GST 複合地区コーディネーター会議が補筆・改訂したものです。活動には様々なものがあり、奉仕を行うクラブが最も活動の中身を知っているので、ここに説明された考え方や事例を参考に、最終的にはクラブで最も適切と思われる受益者数等をご報告いただければ幸いです。

2. ライオンズクラブの奉仕のあり方と定義について

ライオンズクラブ国際協会は100周年を迎えるにあたり奉仕のあり方について再検討され、理事会方針書で以下のように定義されました。

理事会方針書第1章

奉仕への決意

個々のライオンズクラブおよびレオクラブは、その時間、才能、発言力、そして様々なリソースを活用することにより、その地域の福利を全体的に向上させるべくボランティア活動をおこない、地域的人道的ニーズに取り組む。ライオンズクラブとレオクラブ、地区、複合地区、また、ライオンズの管理下にある団体/財団の取り組みおよび貢献は、総体として、グローバル開発アジェンダを前進させ、現代の人間を苦しめている最も深刻な問題のいくつかに取り組む可能性を持っている。ライオンズクラブ国際協会は、そのために、戦略的、包括的、かつ測定可能な奉仕の機会の開発および支援を行うことを通じて、差し迫った世界規模の課題に立ち向かうライオンズとレオを結び付けることに力を尽くす。

ビジョン声明文

地域社会と人道奉仕におけるグローバル・リーダーを目指す。

使命声明文

ライオンズクラブを通じて、ボランティアに社会奉仕の手段を与え、人道的ニーズを満たし、平和と国際理解を育む。

定 義

1. 奉仕エンゲージメントモデルフレームワーク

アドボカシー、奉仕活動、資金獲得、寄付を行うことを含め、ライオンズがその受益者に提供する奉仕の包括的な構造。奉仕の焦点とインパクトを強化するために組織が資源を投入する中心的な分野のプラットフォームから成る包括的な奉仕の構造。

アドボカシーとは、「擁護・代弁」や「支持・表明」「唱道」などの意味を持ち、同時に政治的、経済的、社会的なシステムや制度における決定に影響を与えること

2. グローバル重点分野奉仕プラットフォーム

特定された目標と、その目標達成に向け実行する具体的な戦略を持つ奉仕の中心的分野。これらの戦略奉仕プラットフォームには、国際協会の各種奉仕プログラム主要奉仕事業、LCIF 援助交付金、アドボカシーの機会、奉仕が及ぼす影響を高める戦略的パートナーシップが含まれるがそれだけに限定されない。

3. 国際協会の各種奉仕プログラム主要奉仕事業

ライオンズクラブおよびレオクラブ、地区、複合地区、ならびに具体的な奉仕の成果やインパクトを目指して特定の奉仕プラットフォームの目標達成に向け貢献するライオンズの管理下にある組織/財団のために、ライオンズクラブ国際協会が開発・支援する組織的なプログラム。

以上をふまえて、国際協会にとっての奉仕は、以下の4種類に分類されます。

1. 奉仕アクティビティ（事業）：

これはさらに以下の2つのカテゴリーに分けられます。

①労働奉仕（実践的奉仕活動）：例えば、植樹、視力検査、災害発生後の家の再建、地域社会の人びとにインパクトをもたらす分野の教育、支援を必要とする人々への食事の提供など

②「アドボカシー」といわれるライオンズにとって重要な分野について、社会の理解を高め、社会制度を整えるために働きかける啓蒙活動
例えば、糖尿病の啓蒙のための Strides ウォーク主催、視覚障がい者のニーズに関する地元議員との会合など

2. ファンドレイジング(資金獲得)：奉仕を可能にするための資金を得るための活動。

3. 寄付行為・ドネーション：ライオンズクラブ国際財団（LCIF）を含む個人または組織への慈善寄付。ただし、LCIF への寄付は財団本部で記録集計を行っているため、奉仕事業としての報告は不要です。

4. ミーティング・会議：これには4つのカテゴリーがあります。

1. クラブの強化、会員の教育・研修、他の奉仕活動を計画するための会合
2. クラブ関連の記録管理、報告作成その他雑務処理など、運営実務を行うための会合
3. 各種大会やフォーラムなどのライオンズのイベントへの参加
4. 他のライオンズとの交流や行事

これらの活動は、新会員勧誘、会員維持につながるような価値ある経験となる活動、奉仕活動への準備活動、または直接奉仕の対象となる人々に支援を行う活動など、様々なかたちでライオンズクラブにとってプラスの効果をもたらします。

その他、多くのライオンズ・レオ会員は、クラブ、地区、あるいは複合地区が計画したアクティビティ以外にも、個人としてコミュニティに貢献しています。例えば、自治会で清掃作業に参加する、赤い羽根などの募金に協力する、役員を務める他組織のバザーでのボランティアなど。しかし、これらはライオンズの奉仕

報告には含めません。

3. 奉仕のインパクトを測定する指標について

ライオンズ・レオの奉仕の効果を測定する指標は多々ありますが、これらを総称して「指標」と呼んでいます。この指標に基づいて世界中のライオンズが報告を行うことにより、各地域での奉仕アクティビティが累積してグローバルに大きな効果をもたらしていることを知ることができます。ライオンズのせいかを測定するこの指標ですが、奉仕のタイプによりその測定方法も異なります。

- 奉仕アクティビティ数：クラブ、地区、または複合地区によって活動が報告される都度、活動数1としてカウントされる。
- 受益者数：ライオンズの奉仕で直接恩恵を受ける人の数。正確に数えられる時と、概数での報告が必要な時がある。
 - 受益者数を直接カウントできるケース：視力・血糖値検査、食事サービス、入院中の子供たちへの訪問、地域のイベントで糖尿病に関するプレゼンテーションを実施 など
 - 受益者数を推定で報告するケース：海岸や道路の清掃、植樹、公園の設置、陳情書や署名活動 など

ライオンズの奉仕は直接的にも、間接的にも効果を生みます。例えば、ライオンズが子供の視力検査を行い、ある子どもの視力の問題を特定した場合、その子供は直接的な受益者となりますが、当然、その子の家族、友人、クラスメートもその子供の視力回復により間接的に恩恵を受けることとなります。しかし、この場合は直接の受益者である検査を受けた子供のみをカウントし、報告します。

- ボランティアの人数：奉仕事業の計画や実施に参加する人の数。ライオンズ会員と非会員をボランティアの数に含める。
- ボランティア時間総数：奉仕事業の計画と実施に費やした時間
- 獲得資金金額：奉仕活動または慈善寄付に使用するために調達した資金の額。ライオンズからの寄付、またはファンドレイジングイベントで非会員から集められた資金。
- 寄付金額：個人または団体等に寄付した額。LCIF への寄付は奉仕活動として報告する必要はないが、LCIF への寄付のための資金獲得イベントを実施した際には、資金獲得活動として報告する。

活動の種類に応じて、奉仕アクティビティ報告上、上記の指標は入力が必要である場合と任意の場合があります。その区分は、次表の通りです。

<活動の種類別指標>

		指標					
		奉仕アクティビティ数	受益者数	ボランティアの人数	ボランティア時間総数	獲得金額	寄付金額
アクティビティの種類	奉仕活動	必須（報告されたアクティビティはそれぞれアクティビティ1件とカウントされるため、入力不要）	必須	必須	必須	任意	任意
	資金獲得事業		任意	任意	任意	必須	任意
	寄付		任意	任意	任意	任意	必須
	会合		任意	必須	必須	任意	任意

例えば、奉仕アクティビティであれば受益者数、ボランティアの人数と時間総数の報告は必須ですが、資金獲得金額や寄付金額の報告は任意です。奉仕アクティビティを通じて資金を獲得したり、結果として寄付をしたりした場合には、これらを報告することもできます。

ここで上げた指標以外にも、奉仕のインパクトを測定する方法はあります。例えば、献血活動では血液量を測定できるでしょう。食糧や衣類を回収する活動であれば、これらの品物の数を計上できます。また、奉仕により生まれた善意やコミュニティの一体感、新会員勧誘、または公共スペースの美観が高まる、などの効果もあるでしょう。これらを数値情報として報告することはできませんが、報告を行う際にこういった規定の指標で報告できない内容はぜひ記述欄に書き込んでいただきたいと思います。

4. 受益者数を計算するためのガイドライン

以下、国際協会および日本 GST で整理をした受益者数を計算するためのガイド

ラインを示します。これは、世界中のライオンズが行う奉仕アクティビティ報告が正確かつ一貫性のあるものになることを目指したものです。しかし、実際にその奉仕アクティビティを行ったライオンズ・レオこそが、その事業のインパクトを最もよくわかるエキスパートです。

このガイドラインを参考としていただき、最終的には各クラブの判断で入力を行ってください。

ステップ1: その奉仕活動に受益者数が必要な指標であるかどうかを判断する。

受益者数は奉仕活動の報告の場合には必須です。但し、必須ではない活動であっても、受益者数を報告すべきだと感じる場合があるかと思います。例えば、以下のような場合は、任意の指標として受益者数を報告することも可能です。

- 受益者を特定できる資金調達活動：クラブが5人の大学生を支援する奨学金のための資金活動を行い、その学生がイベントに出席してその奨学金を受け取った場合、クラブは受益者を5名と報告。
- 受益者が特定できる寄付：クラブが介助犬を訓練するNPOに10,000ドルを寄付し、その寄付で犬2匹の訓練ができると知らされている場合、受益者数は2と報告。
- 例会中に実施される奉仕活動：毎月の例会で、生活困難家庭に配る食事キットの袋詰め作業を行い、平均4人家族用の食事キットを50作った場合、受益者数は200人となる。

ステップ2: 受益者を直接数えられるかどうかを判断。直接奉仕の場合には、忘れずに数を記録しましょう。

ライオンズの奉仕活動が受益者に直接行うものである場合には、容易に受益者数を数えられます。例えば、クラブが生徒のための薬物防止教室など学校でボランティアを行う場合、受益者数は生徒数となります。

環境保護等の活動の受益者数は多くの場合推測する必要があります。その場合、まず受益者が誰であるかを判断してください。例えば、学校農園や市民農園などをつくる場合、その農園がレクリエーションのために作られるのか教育のために作られるのかを判断し、いずれの場合でも農園の利用者が受益者となります。農園が地元の低所得者のためやフードバンクに食料を提供するためのものであれば、受益者は食料が提供される人となります。

受益者を算出する方法は何通りかあります。

- 国勢調査データなど、オンラインでも確認できる公共のデータを調査する。
- 非営利団体、政府、学校、公園地区、商工会議所などの地元組織に相談する。
- 学校、診療所、フードパントリーなどのパートナー組織の活動に資金提供または寄付している場合は、パートナー組織に相談し、その寄付によって恩恵を得た人数を決める。
- 観察に基づき算出する。クラブが公園を清掃する場合、実施する日に公園を訪れた人の人数を観察する。

ステップ3: 1回限りのアクティビティであるか、定期的なアクティビティであるか、継続中のアクティビティであるかを判断し、それに応じて受益者を報告する。

1回限りのアクティビティは、一度限りで受益者にサービスを提供し、活動が完了すると終了します。1日以上続く場合もありますが、定期的に繰り返されることはなない活動です。例えば、ライオンズが糖尿病啓発イベントで200人を教育した場合、受益者数は200人になります。

定期的な活動は、定期的に繰り返し行われる活動で、例えば毎月1回主要道路周辺を清掃する場合、各清掃を1回のアクティビティとして報告します。

継続的な活動は、ライオンズの貢献によるものが、継続して不特定の期間人びとに奉仕する場合をいいます。インフラ整備、設備投資や、患者を診療所に輸送するための自動車の購入、学校や寮の建設、がん研究センターの椅子設置のための資金提供などがこの事例に該当します。

- 継続的な活動の報告は、各奉仕事業に最も適したスケジュール（輸送車両の場合は1ヶ月、学校は1年、診療所の場合は四半期ごとなど）を特定して行います。
- 選択した間隔でアクティビティを報告し、その期間中に恩恵を受けた受益者のみをカウントします。例：毎年100人の生徒が通う学校を建設した場合は、毎年1回、100人の受益者と報告する。
- がん研究センターの椅子設置のための資金提供など、ライオンズの日常的な奉仕を必要としない場合、受益者数が正確で最新かどうか、報告する前にパートナー組織（この場合はがん研究センター）に確認してください。
- 継続的な活動として行われた事業が継続的な維持管理を必要とするもの

であれば、ライオンズは継続してその維持管理にも関与するべきです。例えば、ライオンズによって作られた市民公園の維持や清潔な水を提供する井戸の管理などです。このような事業で、ライオンズが設置したものが機能するように維持されていない場合には、その活動はそれ以上報告には含めません。

考慮すべき事項

使用済み眼鏡の収集と寄付:眼鏡回収での受益者数の特定は困難です。リサイクルされた眼鏡が必要とする人にちょうど合って使われることもあれば、集めた眼鏡のパーツのみがリサイクルされる場合もあります。眼鏡のリサイクルセンターや眼鏡を提供しているパートナーに、寄付された眼鏡がどのように利用されているのかを確認し、寄付による受益者を特定してください。特定が困難な場合は、眼鏡 20 個に対し、受益者 1 名で算出してください。

複数のクラブが共同で奉仕を行う場合:参加クラブが事前に奉仕報告について話し合い、合意を得るようにします。全てのクラブが同様に参加し、報告もそれぞれ行う場合、受益者については重複しないように報告してください。例: 8 クラブで 400 人に対し奉仕を行った場合、各クラブは受益者を 50 人と報告します。

地区または複合地区主催の活動:地区ガバナーが、地区内のすべてのクラブが糖尿病の検査に焦点を当てた活動をするよう要請し、その要請に基づき糖尿病検査を行った場合でも、この活動に参加したクラブは、それぞれクラブのアクティビティとしてそれを報告する。ただし、報告の際に、統一された事業名で報告するようにすると、(例えば「2020 年地区イニシアチブ・糖尿病検査」などのように) 集計した際にどの活動が地区主要活動の一部として行われたのかがわかりやすくなります。

複数の分野に対する奉仕アクティビティ:報告の際には、主な分野を選択するか、その活動を複数の活動に分割してそれぞれ報告してください。例:健康フェアで視力検査と糖尿病検査を実施した場合、視力検査と糖尿病検査をそれぞれ別々のアクティビティとして報告も可能です。

主要アクティビティ:主要アクティビティは、多くの場合コミュニティのニーズを満たすためにクラブ、地区、複合地区がその特性や特徴を活かして定期的に行っている活動です。報告の際には、どの活動を主要アクティビティとしてもかまいません。指定することで特に報告方法に違いはありません。

アクティビティ報告の上限:先に述べたように、国際協会はライオンズの奉仕活

動報告の精度と信ぴょう性を確保する責任があります。そのため、クラブ、地区、複合地区が報告する各アクティビティの受益者の上限は 3,000 人とします。この上限を設けることで、

- 統計的に大きく外れた数字による規格外のインパクトを指標から取り除く
- 誤った計算やエラーも含まれる統計に対して、控えめな数字をとるようにする
- 過大な数字を報告することにより社会的な評価が傷つくリスクを避けることにつながります。

受益者数報告のまとめ

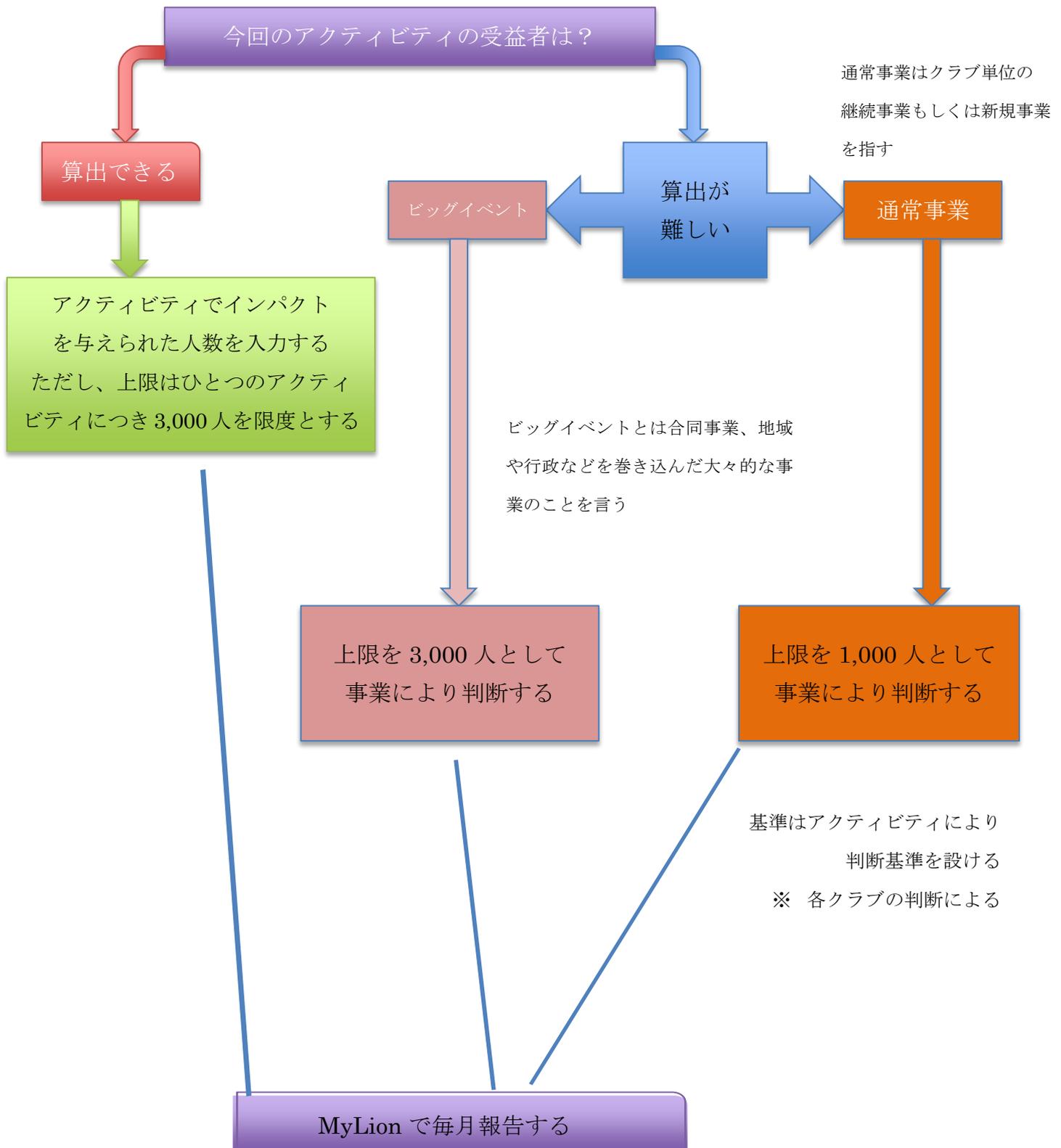
- アクティビティの内容が過大報告とならないように、上限を設定してあります。
- アクティビティのタイプに応じて、「通常のアクティビティ」と「特別なビッグイベント」の二つに分けて判断し、通常のアクティビティは 1,000 名の受益者を上限とし、ビッグイベントは 3,000 名の受益者を上限とすることを推奨いたします。

このガイドラインにない各種アクティビティはガイドラインを参照のうえ各クラブの判断で報告をお願いします。

My Lion 受益者算出ガイドライン

受益者とは、そのアクティビティで利益
またはなんらかのインパクトを得た人の
ことを意味します。

2019～2020 年度 8 複合地区 GST コーディネーター会議策定



★日本でよくある奉仕アクティビティの事例等の受益者数報告の参考事例を、以下にまとめました。

◆公園や駅前などの公共の場での清掃をしました

公共の場での清掃など、その他活動に対しては、1人1時間につき100名とし、合計時間が1,000名を超えるようなときは、何人何時間となろうとも上限1,000名としてください。

◆成木を植樹しました

2m以上を成木とし、1本に対して50名とし、21本以上であっても、上限1,000名としてください。

◆1,000本の苗木の植樹をしました

苗木は、成木の半分1本に対して25名とし、41本以上であっても上限1,000名としてください。

◆献血を行いました

献血による恩恵を受ける人は大勢います、その受益者数を数とするのか？との質問もありますが、その考え方は、献血した赤十字社側の受益者数なので、私達の献血奉仕活動の目的は献血に協力してくれる人集めなので、献血しようとしてくれた人が受益者数となります。

◆クラブ合同献血活動で、街頭でティッシュペーパーを配りました

上記の献血奉仕とは、別に報告「献血啓発活動」としてティッシュペーパーを受け取った人100人を1単位(1人)としてを受益者数とします。クラブ合同で行った場合は、クラブ間で協力した人数割にして、クラブごとに報告してください。

◆諸団体へ金額又はそれに準ずる寄付は？

例：アイバンク協会に1万円寄付をしました

アイバンク協会としての団体寄付は、受益者となる対象者は大勢いますが、受益者として報告せずアクティビティの種類で「資金獲得活動の報告」から金額のみを報告してください。

◆ヘアードネーションをしました。その受益者数は？

小児ガンのアクティビティとして、ヘアードネーションを行っています。その受益者数は、ウィッグ (wig) を制作するための髪の毛をドネーションするのですが、1つのウィッグを作るには複数人分のドネーションが必要です。しかしながら、寄付された髪の毛は1人の患者さんのウィッグに不可欠な一部となることから、受益者数は1名として報告してください。

◆YCE 生を受け入れました。また、クラブから援助金を出しています。

その報告は？

報告のカテゴリーは、「個人への援助」



報告は、YCE 生 1 名で 20 人の受益者としてください。

クラブからの援助金額欄がないので、「地域における成果」のコメント欄に、クラブ援助金額を書き込んでください。

◆子供スポーツ（野球・サッカー・剣道など）大会を開催しました

ビッグイベントな大会は、参加者を対象です。

◆周年記念事業として、駅前に記念の時計台を寄贈しました

周年記念のような通常よりもビッグイベント事業の場合、一律 1,000 名としてください。

◆構築物（公園ベンチや看板など）を周年記念事業として寄贈しました

周年記念のような通常よりもビッグイベント事業の場合、一律 1,000 名としてください。

◆道路脇に、交通安全関係の看板を設置しました

上記と同様に、一律 1,000名としてください。

◆蛍祭りを3日間開催、1日に5,000名前後が鑑賞に来ます※

5,000名であっても 1,000名の範囲としてください。

◆花火大会を開催しています数万人と特定できません※

ビッグイベントですが、1,000名の範囲以内としてください。

◆マラソン大会を行っています※

ビッグイベント規模に応じて 1,000名以上3,000名の範囲としてください。

◆野外コンサートを開催、午前の部と午後の部で1日3万人きています※

午前の部,午後の部 2回に分けて、3万人であっても、ビッグイベントとしての 3,000名の範囲内としてください。

以上4項目※については、イベントで何をしたかによって金額で計上する場合は1万円を10名として計上してください。